

ペットを飼いたい!

でもその前に

ペットは私たち人間と同じように、命ある存在です。ペットを飼うことは、その一生を責任もって面倒を見ることです。そのためには家族全員の理解と協力も不可欠です。
ペットの起こしたトラブルは、全て飼い主の責任です。周囲に迷惑をかける前に最後まで責任をもって飼えるのか、飼い始める前によく考えましよう。

飼い犬の登録

生後90日を過ぎた犬は、お住まいの市町村で登録をしなければなりません。登録すると「鑑札」が交付されます。鑑札を飼い犬に付けていけば、登録番号が記載されていますので、もしも飼い犬が迷子になっても確実に飼い主の元に返すことができます。



毎年狂犬病予防注射を忘れずに!

飼い主のみならずには、愛犬への年一回の狂犬病予防注射の接種が法律で義務付けられています。狂犬病は予防注射することで感染は防げなくても発症を予防することができます。飼い犬はもちろん、飼い主自身や家族、近所の住人や他の動物への感染を防止できます。
狂犬病予防注射の接種がまだの方は、お近くの動物病院で早めの接種をお願いいたします。



台湾で54年ぶりに狂犬病が発生しました!!

台湾では、去る7月に約54年ぶりに狂犬病ウイルスに感染した野生のイタチアナグマが確認されました。さらに、狂犬病に感染したイタチアナグマによる人への咬傷事故が発生し、9月には野生動物から咬傷を受けた飼い犬が狂犬病を発症しました。

狂犬病は哺乳類全てに感染するおそれがあり、発症するとほぼ100%死亡する恐ろしい感染症です。日本では世界でも数少ない狂犬病発生浄国(発生の無い国)ですが、台湾と同様に突如発生する恐れもあります。

狂犬病の蔓延を予防するには、狂犬病予防注射の接種が大変重要です。
飼い犬への予防注射を徹底することで犬への蔓延が予防され、さらに人への感染を防ぐことができます。

犬・猫の新しい飼い主さんを募集しています。

市では飼主不明で迷子になったり、飼主の都合で飼えなくなったりした犬・猫の適切な飼育と認められた犬・猫を、ペットとして譲渡します。

【譲渡にあたっての条件】

- 住まいはペット可の住居ですか? 転居や転勤の予定はありませんか?
 - 家族全員飼育することに賛成していますか? アレルギーを持っている方はいませんか?
 - 毎日欠かさず世話に時間と手間をかけられますか?
 - 近隣に迷惑をかけないように配慮できますか?
 - 不妊・去勢手術など、確実な繁殖制限措置を行いますか?
- その他にも、原則として、現在他に動物を飼育していないことや、適正飼養に関する講習会を受講すること、猫の場合は完全室内飼育であること、などが条件にあります。
動物を飼うという事は、毎日その動物と生活し、生涯に渡って世話をするという事です。一時のかわいさから、かわいそうだから、という感情に流されず、よく家族とも相談し、家族全員の同意の上で申し込んでください。



公益社団法人 日本愛玩動物協会 沖縄県支部 支部長 金城 育子さん 愛玩動物(ペット) 飼養管理士

昔に比べて、最近では飼い主のマナーも向上してきていて、ペットの飼育方法などの問題は少しずつ減ってきています。しかし、沖縄県全体で見れば、まだまだペットを放し飼いにしたり、虐待したり、さらに野良猫が増加し、殺処分数が多いなど、問題は多いのが現状です。
日本愛玩動物(ペット)協会では、ペットの正しい飼育



お問い合わせ 環境衛生課 ☎951-1530

みんなで考えよう 地球温暖化対策!



環境ピックアップ

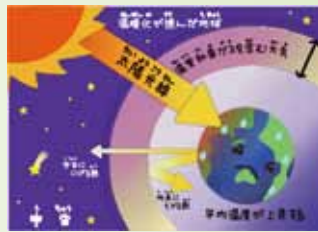
地球温暖化は、地球全体の環境に深刻な影響を及ぼし、海面水位の上昇や台風の巨大化などの異常気象の発生、生物種の根絶などにより、わたしたちの生存基盤が脅かされる恐れがあります。
地球温暖化は地球規模の問題ですが、その解決策は私たち一人ひとりの日々の暮らしや社会と直結しています。市では市民・事業者・行政が一体となり、協働による総合的な地球温暖化対策の推進を図ります。

地球温暖化とは?

地球は、大気に包まれています。その大気には、二酸化炭素などの温室効果ガスが含まれており、地球上の動物や植物が心地よく暮らせる約15度という温度を保つ役割をしています。
この温室効果ガスが増えると、大気内に残る熱が増えて、地球の平均気温は上昇します。これを地球温暖化といいます。

地球温暖化になるとどうなるの?

極端な大雨や洪水、深刻な干ばつや台風の巨大化などの異常気象の発生が増え、サンゴの白化など生態系への影響、海面水位の上昇により、海ばつちの低い島などは海に沈んでしまいます。地球温暖化は、私達の食べ物や生活に必要な水、健康などに大きく影響を与えます。
安全で安心して楽しく生きていくために、温暖化対策が必要です。



涌井史郎氏講演会

『沖縄と温暖化対策』～人と自然とまちづくり～

県内において、6月に環境省と県主催による「地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議」が開催されました。この国際会議をうけ、環境と共生した豊かな美ら島づくりを具体化するための講演会および座談会を開催します。海に囲まれた沖縄は、地球温暖化の影響を大きく受けます。『沖縄の宝』を見直し、私たちのふるさとのことについて、もう一度考えてみませんか?

第1部: 涌井氏講演会 『沖縄と温暖化対策』
第2部: 座談会 『50年後も暮らしたい沖縄(那覇)』

テレビでお馴染みの涌井史郎さんをお迎え、50年後も暮らしたい沖縄(那覇)とはどういったまちなのか、残したいふるさととは?温暖化対策をしっかりとやっていく中で、沖縄が持続発展していくにはどうすべきかを、涌井氏、翁長市長、那覇市地球温暖化対策協議会清水会長とともに話しあう。

日時 10月21日(月)
開場 17時半
開演 18時~(20時半終了予定)
会場 パレット市民劇場
対象者 県内在住者(※400人定員)
費用 無料(※要申込み)



【お問い合わせ】 環境政策課 ☎951-3392

ハイサイ! 街角インタビュー



応急手当を広めたい

島袋 梨夏さん

日本トランスオーシャン航空 客室乗務員

日本トランスオーシャン航空に勤める島袋梨夏さんは、平成21年に訓練課へ配属されたのを期に、応急手当普及員を取得し、客室乗務員の応急手当訓練を担当。また社内での応急手当の指導をする傍ら、市消防本部の応急手当講習にも積極的に参加し、インストラクターとして活動しています。去る9月8日(日)に行われた「那覇市救急・防災フェア」では、二日救急隊長に任命され、親子連れのみならず、AEDを使った応急手当の指導

をするなど応急手当の普及活動に取り組んでいました。いかにわかりやすく説明するかを心がけている島袋さん。今年8月に客室乗務員へ配属となり、日々フライトを行っている多忙中においても、「緊急の現場に居合わせたときに、一人でも多くのみなさまが、迅速に救命処置が行えるように、応急手当を指導し、普及していきたい。応急手当普及員として、社内外へのボランティア活動に今後も積極的に取り組みたいです」と抱負を語りました。